

# (国体プレ大会) 第37回全日本中学 選手権競漕大会



7月29日、30日の2日間、来年開催する国体のプレ大会となる「第37回全日本中学選手権競漕大会」が県立久々子湖ポートコースで行われました。  
大会には、全国から216クルー541人の選手が出場し、熱いレースが繰り広げられました。

男子シングルスカル



男子舵手つきクォドルプル



女子舵手つきクォドルプル



スタートの風景



自衛隊の協力によるスタート



男子ダブルスカル



女子ダブルスカル

## ボランティア等による来場者へのおもてなし



町内女性団体によるふるまい



選手へのドリンクサービス



試合の間にエルゴメーターで調整



女子シングルスカル



### 総合体育館で 開会式を開催

競漕大会前日の7月28日には、開会式が総合体育館で行われました。

式では、男女シングルスカル・ダブルスカル・舵手つきクォドルブルの前大会優勝チームから優勝杯の返還が行われ、山口町長から出場選手に歓迎の言葉が贈られました。

選手宣誓は、美浜中学校ボート部3年生の山本透威さんと木村海麗さんが務め、「日頃の練習の成果を十分に発揮し、いつも支えてくださった家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れずに、最後まで正々堂々レースをすることを誓います」と、大会に向けて誓いの言葉を述べました。



↑選手宣誓を行う山本透威さん(左)と木村海麗さん(右)



### 来年開催の 国体に向けて

今大会は、来年開催する福井しあわせ元気国体のボート競技のプレ大会という位置付けで開催しました。

今大会では、6人の一般ボランティアスタッフが一般受付や無料ドリンクサービスクーナー等でご協力いただきました。

また、一般エリアでは「おもてなしコーナー」として、町内の女性団体から約20人が参加して「へしこ茶漬け」等のふるまいを行ったり、協賛企業によるコーヒーマシンの無料配布が行われたりしました。

ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございます。町では、来年開催する国体へ向け、ボランティアおよび協賛企業を引き続き募集しています。今後も、来年の国体が成功するよう準備を進めていきますので、引き続きご協力をよろしく願います。

※お問い合わせ先

町美浜創生戦略課 国体推進室

(担当・出口)

☎ 32-6715

## ボランティア・補助員インタビュー



補助員として  
ご協力いただいた

### 若狭東 高等学校

の生徒の皆さん

大会に来た方が、競技しやすいと思ってもらえるように、また、地元福井県の力になりたいと思いつながり活動しました。全国から来た選手と色々話すことが出来て楽しかったです。



一般ボランティア  
として参加された

### 山形 隆

さん

町内で働いていて、少しでも役に立ちたいと思って参加しました。来年は国体の期間が長いので、どこまで参加できるかは分かりませんが、町全体で盛り上げるイベントだと思いますので、自分もその役に立ちたいと思っています。



### 美浜女子A(女子舵手つきクォドルブル)は5位、 男子ダブルスカル美浜は6位入賞

【女子舵手つきクォドルブル】  
美浜中学校 A

決勝タイム 4分19秒08



選手たちは「後半は声をかけあって頑張りましたがトップには届きませんでした。しかし、悔いのない一番良いレースができ、笑って終わることができたのでよかったです」と話していました。



↑(左から)森田菜月さん、木村海麗さん、武田彩花さん、中村ひかりさん、青池未緒さん

### 準

決勝を2位で通過して迎えた決勝では、レースが進むにつれて、トップとの差は徐々に広がっていったものの、粘り強くボートを漕ぎ、5位入賞を果たしました。

### ス

ターゲットをきく、以降は、そのペースを守る作戦で挑んだ山本・山口ペア。決勝では力及ばず6位入賞を果たしました。今大会で引退する3年の山本さんは「悔いを残すことなく満足のいくレースができました」と話し、2年の山口さんは「今回、勝てなかった悔しさを力に変えて、今後も頑張りたいです」と話していました。



ターゲットをきく、以降は、そのペースを守る作戦で挑んだ山本・山口ペア。決勝では力及ばず6位入賞を果たしました。今大会で引退する3年の山本さんは「悔いを残すことなく満足のいくレースができました」と話し、2年の山口さんは「今回、勝てなかった悔しさを力に変えて、今後も頑張りたいです」と話していました。



↑(左から)山本透威さん、山口暉平さん

【男子ダブルスカル】  
美浜中学校

決勝タイム 3分56秒83

福井しあわせ元気国体の

## ボランティアを募集しています！

福井しあわせ元気国体で全国から来県される方々を温かくお迎えするため、運営に協力して下さるボランティアを募集しています。国体の成功に向けて一緒に盛り上げましょう！

### 募集内容

【募集人数】 200人

【応募要件】 中学生以上の方

### 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、町国体推進室まで持参または郵送、FAX、メールにてお申し込みください。  
※申込書は、町役場や各公民館等に設置しています。また、町ホームページからダウンロードできます。

### 活動内容

<b>会場サービス</b> 弁当配布 ドリンクサービス 車椅子貸出 など	<b>会場整理</b> 観客誘導 座席案内 駐車場案内 など	<b>会場美化</b> 会場清掃 ごみ箱の管理 花の管理 など	<b>受付・案内</b> 来場者受付 会場案内 資料配布 など
--	--	---	---

詳しくは、町ホームページをご覧ください。町国体推進室(担当・出口)までお問い合わせください。

### 大会結果(優勝のみ)

種目	クルー名・学校名	決勝タイム
男子	シングルスカル 柘植 充 (ぎふジュニアボートクラブB)	4:01.06
	ダブルスカル 本庄南中学校 A	3:41.90
	舵手つきクォドルブル 総合優勝 瀬田北中学校	3:31.49
女子	シングルスカル 上野 美歩 (ぎふジュニアボートクラブA)	4:27.59
	ダブルスカル 米子漕艇クラブ A	4:08.27
	舵手つきクォドルブル 総合優勝 入野中学校	3:58.21



↑大会講評を述べる大久保尚武会長

総合体育館で行われた表彰式・開会式では、公益社団法人日本ボート協会の久保尚武会長が「中学校は人生の中でスタート地点です。優勝したクルーもそうでないクルーも、これからはもっと長くボートを漕いでもらいたいと思っています」と述べられ、2日間にわたる大会を締めくくりました。



### 競漕大会を終えて

# J-ALERT

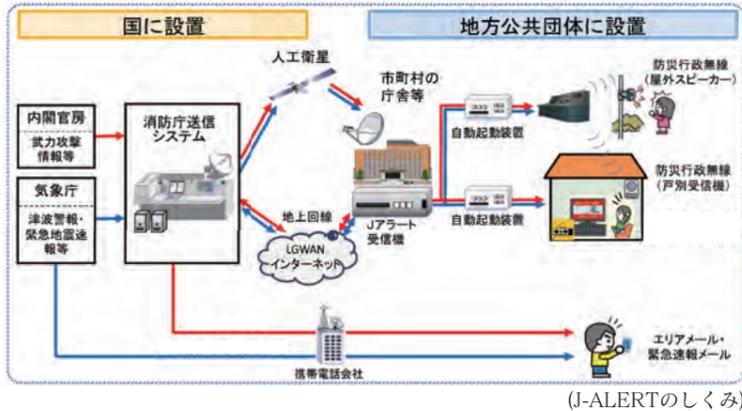
## ご存知ですか？



### ◆全国瞬時警報システム(J-ALERT)とは

弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星を用いて瞬時に町の同報系防災行政無線(屋外スピーカー、音声告知放送)から自動放送を行い、住民の皆さんに伝達するシステムのことで、美浜町では平成19年度から運用が開始されています。

大きな特徴として、同報系防災行政無線を使用し自動放送するため、町の職員体制に関わらず休日・夜間等でも、国からの情報を住民の皆さんに瞬時に伝えることができます。



(J-ALERTのしくみ)

### ◆情報を受信した際に自動放送を行う情報

1 弾道ミサイル情報	6 緊急地震速報
2 航空攻撃情報	7 大津波警報
3 ゲリラ・特殊部隊攻撃情報	8 津波警報
4 大規模テロ情報	9 気象等の特別警報
5 その他の国民保護情報	

### ◆注意事項

○J-ALERTは、緊急情報を自動放送するシステムのため、24時間いつでも放送されます。

○緊急地震速報の場合、震源が近いときや直下型地震の場合は、速報が間に合わないことがあります。

### ◆弾道ミサイル落下時の行動

## 弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

### ①速やかな避難行動

### ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

国民保護ポータルサイト  
武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。  
[http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryou/hogo_manual.html)

首相官邸 ホームページ [www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)

Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます

**Jアラート(例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。**

メッセージが流れたら  
**落ち着いて、直ちに行動してください。**

- 屋外にいる場合** できる限り頑丈な建物や地下に避難する。  
地下：地下街や地下駅舎などの地下施設
- 建物がない場合** 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合** 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

**近くにミサイル落下!**

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

## 第1回以来、29年ぶりに美浜町で開催 第30回ポートサミットで美浜町が表彰されました

お問い合わせ先  
町美浜創生戦略課(担当・志賀)  
☎32-6715



7月14日に、全国ポート場所在市町村協議会(ポートサミット)がなびあすで開催されました。この協議会は、ポート場が所在する市町村が相互に情報交換をして協調を深めることで、ふるさとづくりの推進や広域的課題の解決に取り組むことを目的として毎年開催されています。本会議では、加盟する32市町村のうち30市町村が一堂に会して、各市町村のポート場



↑受賞した個人7人と団体7組



↑表彰状を受けとる山口町長

の現状を報告したほか、創立30周年を記念した功労者表彰が行われ、ポートの推進に貢献した個人・団体が表彰されました。美浜町は、昭和63年に当時の「漕艇場所在市町村協議会」の発足に向け発起人となり取り組んだことや、ポート競技の普及・振興を図ったことの功績が認められ、田中幹夫会長から山口町長に表彰状が渡されました。

## 「記録的短時間大雨情報」が美浜町メール配信サービスで受信できるようになりました

お問い合わせ先  
町エネルギー政策課(担当・久木)  
☎32-6716

### 「記録的短時間大雨情報」登録方法

- ①「美浜町メール配信サービス」にアクセスしてください。  
<https://mail.cous.jp/f-mihama/>  
←こちらのQRコードからでもアクセスできます
- ②「メール配信条件確認・変更」を選択し、登録しているメールアドレスを入力の上「確認」ボタンを押してください。
- ③入力したメールアドレス宛てに変更登録用ホームページURLが送信されますので、変更ページにアクセスします。
- ④現在の登録内容が表示されるので、ページ下部の「変更」ボタンを押して、気象情報の「記録的短時間大雨情報」にチェックを入れます。
- ⑤「確認」ボタンを押し、内容を確認して「登録」ボタンを押します。
- ⑥登録情報の更新が完了し「美浜町メール配信サービス変更サービス完了のお知らせ」のメールが届いたら完了です。

※詳しくは町のホームページをご覧ください。 [福井県美浜町メール配信サービス](#)

美浜町メール配信サービスでは、気象情報の一つである「記録的短時間大雨情報」の配信を9月1日から開始します。記録的短時間大雨情報は、数年に一度しか発生しないような大雨が短時間に降り、各地の気象台から発表される気象情報の一つです。美浜町では、この情報を避難勧告等を発令する際の判断基準の一つとして活用しています。受信を希望される方は、変更ページにアクセスして、登録内容の変更(※)をお願いいたします。また、メール配信サービスを利用されていない方につきましても、この機会にぜひご登録ください。登録内容の変更や新規登録は「美浜町メール配信サービス」にアクセスして設定します。方法は次のとおりです。※初期設定では「受信しない」設定となっています。

# 新しい農業委員会がスタート

農業委員会は、農地を守り有効に活用するための行政委員会として、さまざまな農地の法定業務に取り組みとともに、活力ある農業、農村づくりを目指し活動しています。

**農業委員の改選、農地利用最適化推進委員の委嘱が行われました**

「農業委員会等に関する法律」の改正により農業委員の選出方法が変更され、これまでの公職選挙法に基づく公選制から町長が議会の同意を得て任命する方法に変わりました。

町農業委員会では、農業委員の任期満了により改選され、7月20日に新たな農業委員11人が山口町長から任命されました。その後の会議で、会長に中村博昭氏(松原)が選出されました。

また、農地利用の最適化の推進を目的とした「農地利用最適化推進委員」を農業委員会が委嘱することになり、今回7人が農業委員会から委嘱されました。

農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期は平成32年7月19日まで3年間で

**農業委員会の役割が強化されました**

法改正により「農地等の利用の最適化の推進」が農業委員会の最も重要な業務に位置付けられました。このため、町農業委員会ではこれまでの農地法等に基づく許認可事務のほかに、農地利用の最適化を進めるために次の業務に取り組みます。

- ・担い手への農地利用の集積の推進
- ・耕作放棄地の発生防止、解消の推進
- ・新規就農、企業等の農業参入の支援

**農業委員会への申請は毎月10日まで**

農業委員会では、農地の売買や譲渡、農地の転用(農地を農地以外の用途に使うこと)等の許可申請に係る審査を毎月の会議で行っています。申請書類の提出期限は毎月10日です。申請をされる際は事前に事務局までお問い合わせください。

※お問い合わせ先

町農業委員会事務局(担当・上光)  
☎ 32・6706

## 農業委員・推進委員一覧

(北・南地区)			(耳地区)			(東地区)		
担当地区	農業委員	農地利用最適化推進委員	担当地区	農業委員	農地利用最適化推進委員	担当地区	農業委員	農地利用最適化推進委員
町内全域 <b>農業委員会 会長</b>			耳地区 (主任)			東地区 (主任)		
	北・南地区 (主任)		・河原市 ・南和田 ・木野 ・佐柿 ・麻生			東地区 (主任)		
	・早瀬 ・笹田 ・日向 ・久々子 ・松原		・野口 ・佐野 ・上野 ・興道寺			・坂尻 ・山上 ・太田 ・佐田		
	・気山 ・大金 ・久郷		・新庄 ・小三 ・宮代 ・中			・北田 ・菅波 ・丹生		



(敬称略)

# 美浜の環境

シリーズ 104 environment

# 特定外来生物による生態系への影響

ここ最近、「外来生物」や「特定外来生物」という単語がニュース等をにぎわしています。今月号では、外来生物が日本の生態系に与える影響と、その対策について紹介します。

### ○特定外来生物の例

名称	危険性
ヒアリ	毒針による人への危害が懸念される
アライグマ	野生化して畑を荒らす恐れがある
ブルーギル	在来魚や水生生物を捕食し、その生息を脅かしている
オオクチバス(ブラックバス)	在来魚や水生生物を捕食し、その生息を脅かしている
オオキンケイギク	在来の野草を駆逐し、辺りの景観を一変させる恐れがある

**外来生物と特定外来生物の違い**

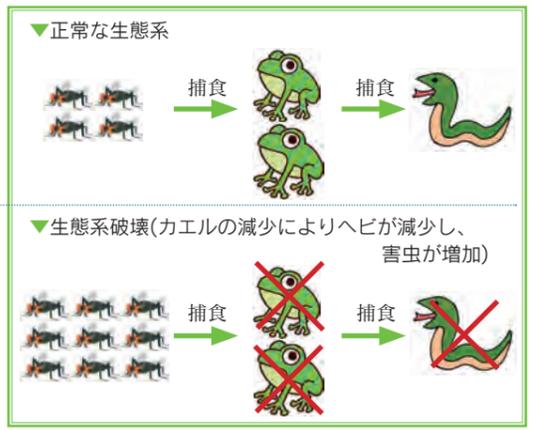
外来生物とは、ペットとして持ち込まれたり、荷物と一緒に輸入されたりと、さまざまなルートで外国から国内に入ってきた動物や植物のことです。現在、日本では2,000種以上確認されています。

その外来生物の中で、特に生態系や人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすもの、またはその恐れのあるものが特定外来生物として指定されています。現在、100を超えている種が特定外来生物に指定されており、この生物を野外に放つことや、飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入は原則禁止されています。

### 生態系破壊をもたらすもの

なお、日本で外来生物が問題となっているように、逆に日本の生物が世界各地で問題を起している場合もあります。

例えば、日本で食用に使われるクズやワカメは、海外では食用にされておらず、また、その繁殖力の高さや拡散の早さ等から駆除対象となっており、対応に多額の費用が掛けられています。



### 外来種被害予防三原則

外来生物は、一度拡がると対策を立てるのが困難なため、予防が大切です。普段の生活から次の三原則を心にとめて行動しましょう。

#### 外来種被害予防三原則

- 悪影響を及ぼす恐れのある外来生物を「入れない」
- 飼養している外来生物を野外に「捨てない」
- すでに野外にいる外来生物を他地域に「拡げない」

### ※お問い合わせ先

町住民環境課(担当・藤村)  
☎ 32・6703